

ココロもカラダも  
満ち肌美人へ

Your shining life  
starts with caring for your skin.  
We believe it is our  
given mission to support you.

ラビ

プレ

通信



2017.06



弘前大学藤崎農場には、16品種1万3千球の  
チューリップと57品種約1千2百本のリンゴの木が  
植えられています。

毎年5月上旬、「リンゴとチューリップフェスティバル」  
が催され、弘前大学研究関連の出店を楽しみにされ  
ている家族連れが、たくさんいらっしゃいます。

# 美容レポート スペシャル

国内外600社以上が出演し、美容業界最大の見本市が平成29年5月15日から17日まで東京ビッグサイトで開かれました。見学に行った、エステサロン『La Pomme(ラ・ポム)』の美容部員2名が、会場での様子をお伝えします。

この見本市は今年20周年を迎える、海外からの来場者も多く、去年より会場も広くなり、私たちは規模の大きさに圧倒されました。

まず、目についたのが美容分野の次世代のヒーローとも言われている「ヒト幹細胞培養液」を使用した商品です。会場を歩くたびに「ヒト幹細胞」の文字を目りました。美容液は目元などに塗るスティックタイプのものなどがあり、実際に試してみると、肌への浸透が早く、馴染みもとてもよかったです。

他には、「金」をナノ化して抗酸化力に非常に優れた化粧品や、オーガニック化粧品、スペイン発のシリコンを使ったフェイスパックもありました。どれも気になるものばかりでした。また、酸素カプセルや耳つぼなど体験できるブースがいくつもあり、たくさんの来場者で賑わっていました。

別の会場では、エステサロンにおける集客のメソッドの講義などが行われ、普段はなかなか聞けないお話などを聞くことができ、これから当サロンに役立てることができる情報がたくさんありました。

近年では、施術者とお客様とのコミュニケーションが少なくなってきたというところから、「カラーセラピー」をカウンセリングに取り入れ、お客様とのコミュニケーションをはかる会社もありました。



担当エステティシャン

皆様のキレイを応援します!

美容について疑問・質問など、

お気軽にお聞かせください。



竹内久美子

田中 結愛

## Beautyworld Japan 2017

ビューティーワールドジャパン 2017



各社の施術の様子を見ましたが、オールハンドで施術しているところは少なく、機械での施術が多くみられました。確かに、機械での施術は即効性がみられるかもしれません、ラポムでは、オールハンドならではの心地よさを実感してもらい、お客様一人ひとりと直接コミュニケーションを取りながら、よりリラックスできるサロンを目指していきたいと思います。

# Holistic Body Treatment

ホリスティック ボディトリートメント

## 美容体験レポート ボディトリートメントお客様感想

### 千葉 真子 様

私は睡眠が浅く身体の浮腫みで悩んでいましたが、ボディトリートメントを受けると、夜もいつの間にか寝てしまっていたり、次の日も身体の調子がとても良かったり、首周りの浮腫みが少なくなったりスッキリするように感じられます。

施術中も心地良く、自分では手の届かない肩甲骨周りや背中を念入りにやってもらったりと、全体的な身体のだるさなどが無くなっていくようです。

普段生活している雰囲気とは違う空間とアロマの香りがする中で、施術されるのはとても気持ちがいいものです。

### 松田 香奈 様

ホリスティックボディトリートメントを体験して、普段とは違うリラックスできる空間で身体がほぐされていくのを実感しました。

トリートメント中は少し痛いですが、ほぐされていくにつれ体がポカポカしてきて気持ちよくなり、何度も寝そうになってしまいました。トリートメント後は、気になっていた背中の浮腫みもすっきりし、次の日は、オイルの効果なのか肌もしっとりしていました。

通い続けることで、身体がより楽になっていくんだろうなと思いました。



## 容成分チェック ラビプレ社長が語る。



### 今回の成分

( 甘草(かんぞう) )

## 北国の気象条件が生んだ “津軽甘草”の復活

『ラヴィプレシューズ APGライン』を構成する3大重要素材のひとつである「グリチルリチン酸」は、肌の表面を柔らかくして「プロテオグリカン」と「APセラミド」が浸透しやすい状態に整えてくれます。

そしてその「グリチルリチン酸」を多く含む甘草に私たちは出会いました。

もともと甘草は、中国では古くから和漢素材として珍重され、日本でも300年以前から健康を支えてくれる植物として知られてきました。しかし西洋医学の発達により、明治以降、国内での栽培は途絶えていました。甘草に含まれる成分に注目が集まったのは近年のことです。

機能性と満足度の高い、理想の基礎化粧品を完成させるためには、どうしても国産の上質な甘草を使いたい。ゆずれない思いを募らせた私たちは蔬菜園芸学を専門とする弘前大学の前田智雄博士との共同研究により「津軽甘草」として国産甘草の復活を目指すようになりました。

夏は乾燥し、冬は大雪で閉ざされる自然環境で、2年もの歳月を費やして栽培される「津軽甘草」。津軽特有の厳しい気候に抱かれながら、じっくりとグリチルリチン酸を根に蓄えるのが「津軽甘草」の特徴です。

『ラヴィプレシューズ』は、時代を超えて受け継がれてきた自然由来成分の力で肌本来の美しさを引き出しながら、すべての女性が心から求める“満ち肌”へと導いていきます。





ラビプレスタッフが  
おすすめする  
地元の「逸品」を  
ご紹介します！

## 津軽こぎん刺し

こぎん刺しは、青森県津軽地方の農村女性の間で受け継がれた刺し子です。明治以降の流通や時代の移り変わりで、着物としての需要が失われ一度途絶えましたが、再興に地道に取り組んだ先人の努力と情熱で、今の「こぎんブーム」があります。

津軽富士・岩木山のお膝元、弘前市の旧岩木町地区では、小中学校の授業にもこぎん刺しがあり、幼い頃から人々が慣れ親しんできました。そこで生まれ育った蒔苗桂子さんも、その一人。成人後は美容師として働き、結婚と出産を機に家庭に入り、こぎん刺しに久しぶりに触ることになりました。あらためてその奥深さを知ることとなり、“natumo(ナチュモ)”ブランドとしてイベントに参加したり、自らの作品をSNSで発信したり、徐々にネットワークを広げ、お客様も増えたそうです。

現在は提携店での委託販売や、オーダーメイドでお客様のご希望の商品やデザインなどを、こぎん刺しで形にしています。商品によって製作時間も違うので、大量には作れません。丁寧に心を込めて作られた作品はすべて一品ものです。

今年の1月からご自宅で美容院を再開している蒔苗さん。



こぎん刺しへの情熱は変わらず、今後は糸も草木染めをして、オリジナリティをより出していきたい、と語っていただいた様子から、これからもこの津軽の伝統工芸は受け継がれていくのだろうと嬉しくなりました。

(取り扱い店) La Pomme(ラ・ポム)

青森県弘前市土手町65

営業時間／10:00～18:00 定休日／木曜日・第2・4日曜

お問い合わせ／0172-55-0590

## キャンパス 桜 通信 8

### フリーぺーぺーで人を繋げる ～学生サークル Hiromaru(ヒロマル)～

「やりたいことをやりたいようにやる」がモットー。デザインが好きな人、カメラが好きな人、文章を書くがこと好きな人、人と話すことが好きな人など、自分の好きなことを仲間と一緒にしながら、主に弘前の学生を対象にしたフリーぺーぺーを作成しています。

企画からアポ取り、取材交渉、記事編集、紙面作り、校正、入稿までをすべて学生だけで行っています。



作成したフリーぺーぺーは、大学内はもちろん、取材協力していただいたお店、市内の各施設へ配布しています。みなさんが手に取って読んでくれることが一番の幸せです。

商品やお肌に関するご質問・ご相談はこちらまで！

0120-282-844

受付時間／月～金曜日 9:00～18:00 (祝日・年末年始を除く)  
※携帯電話からもご利用頂けます。

[www.ip-apg.com](http://www.ip-apg.com) ラビプレ 検索



株式会社ラビプレ  
〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地  
国立大学法人 弘前大学 コラボ弘大内

